



たかといちどいだよい

令和7年3月 第113号
たかといちどい保育園

「やらない力」とは

宮田 孝一

1月は行き、2月は逃げ、明日からはもう3月です。毎年思うことですが、なぜ年度末の3か月は、こうも早く過ぎ去っていくのでしょうか。それも、年々加速しているような気さえします。大人になると時間の経つのが早く感じるのは、新しい発見がなくなるからだ、というような話を聞いたことがあります。でも、それとこれとは話が違うように思います。旅立っていくゆめ組の子どもたちはもちろんのこと、それぞれのクラスやグループにとって、令和6年度の「有終の美」を飾る月になることを願って止みません。

米国カリフォルニア州シリコンバレーにある「日英バイリンガル幼稚園 Sora International Preschool」の創立者である中内玲子氏が、次のような実験を紹介されています。「やらない力」が人生にどのような影響を及ぼすかを実証したスタンフォード大学の心理学者ウォルター・ミシエルが行った「マシュマロ実験」です。

4歳の子どもを一人ずつ部屋に入れ、マシュマロを一つ置き、実験者は子どもとある約束をして部屋を出ます。その約束とは、マシュマロは食べたいときに食べていいが、実験者が戻ってくるまで食べずに我慢していられたらもう一つマシュマロをあげるというものです。実験者が部屋を出てすぐに食べてしまう子もいれば、我慢したものの待ちきれずに食べてしまった子、実験者が戻るまで15分間我慢できた子もいました。

この実験には、何年も経ってから驚くべき発見がありました。マシュマロ実験で我慢ができなかった子どもたちは、その後、学校などで問題を起こすことが多かったのです。ミシエルらが追跡調査をしたところ、15分間待っていた子どもたちは、30秒で誘惑に負けてしまった子どもたちよりもSAT（大学進学適性試験）の成績が210点も高く、大人になってから、より収入の高い職業につき、肥満や薬物乱用などの可能性も低かったのです。中内氏は「幼児期に自己抑制能力（やらない力）を身につけられるかどうか、その後の人生に大きく関わります。」と述べています。

「セルフコントロール」ができる力、自身の感情、欲求や欲望、思考、衝動、行動を管理し制御できる力を、身に付けられるような経験を積むことが、人生の目標を達成するための基礎的な力になるということだと思います。昨今の社会情勢を見るにつけ、これから「やらない力」が注目されるかもしれませんね。



3月の予定

幼児わくわく発表会	1日(土)	ひなまつり会	3日(月)
誕生会	5日(水)	お別れ遠足	6日(木)
発育測定	12日(水)～14日(金)		
卒園式	19日(水)	お別れ会	21日(金)
移行保育	24日(月)～		
体育あそび	3日(月)・13日(木)		





毎日保育士とやりとりをする中で、子どもたちは少しずつ言葉の意味を理解し、保育士が話しかけると表情や行動で応えたり、感じた思いを言葉で表現したりするようになってきました。また、友だちと同じ玩具を使って一緒に遊ぶことが増え、頭を撫でたり抱きついたりなど関わりを喜ぶ姿も見られます。相手を思いやる気持ちが芽生えはじめたようで、友だちに優しく関わりに行く様子が見られ、とても成長を感じています。今後も保育士が傍で仲立ちをし、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

あさひぐみで過ごし始めて約1年が経ちました。子どもたちは発達とともに、様々な玩具への興味が広がってきたように思います。今月は、ひかりぐみの保育室で過ごす時間を増やし、新しい保育室で様々な玩具に触れて楽しく過ごせるようにしていきます。



いっしょにあそぶとたのしいね



今月のねらい：ひかりぐみ保育室で過ごすことに慣れる



一人ひとり言葉もずいぶん増えてきて、保育士や友だちと会話を楽しんでいます。「せんせい〜くだものカードしよう」と誘い、興味をもって遊ぶことが増えてきました。「いれて〜」「いいよ」と友だちも参加し、遊び終わっても「もういっかいしよう」と繰り返し遊んでいます。また、「トントントン何の音？」と聞くと「でんしゃのおと〜」「あるくおと〜」などやりとりができるようになり、遊びの幅も少しずつ広がってきました。今後も子どもたち同士の関りを温かく見守りながら、一緒に遊ぶ楽しさが感じられるように言葉をかけて関わっていきたいと思います。

今月は、子どもたちが進級することを楽しみにできるように、にじ組の保育室で遊ぶ機会を増やしたいと思います。そして、安心して自分を出し、満足して過ごせる環境を整え、丁寧に関わっていきたいと考えています。

今月のねらい：保育士や友だちと進級することを喜ぶ



どれかな？



なんのおと？

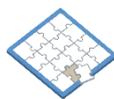


先月は、幼児グループの保育室や遊戯室で、年上の友だちとたくさん関わって遊びました。以前は人見知りで緊張していた子どもも、年上のお兄さんお姉さんが遊びに誘ってくれることで段々と慣れていき、一緒に遊ぶ姿が増えてきました。幼児保育室に遊びに行った際は、新鮮で嬉しかったようで、「これできたよ」「じぶんでこれかたづけたよ」と一つお兄さんお姉さんになる喜びを感じている様子でした。今月も幼児グループの保育室に遊びに行ったり、一緒にルールのある遊びをしたりして、たくさん関わって遊べるようにしていきます。

にじ組も残り1か月となりました。今月は進級に向けて、一人で衣服の着脱ができるように援助したり、幼児のトイレに行く機会を作ったりし、少しずつ慣れていけるようにします。



いっしょにしよう



みんなでボールプール

今月のねらい：進級への喜びを感じ、自分で身の回りのことをしようとする



きりんグループ



毎日、片付けや手洗いうがい、食事、衣服の着脱など、身の回りのことを自分で行っていきます。以前は保育士の声掛けで次の行動を一緒に行っていたのですが、見通しがもてるよう事前にするのを伝えたり、援助したりすることで、今では保育士の声掛け、援助がなくても「もうてあらいしたよ」「じぶんできがえてじゅんびしたよ」などと取り組む姿が見られるようになりました。また、友だちを誘ったり教えたりする様子もありました。見通しをもち意欲的に取り組んでいる過程を十分に認めることで、これからも自信に繋げていきたいと思えます。

3月は、これまで過ごしてきた思い出や遊びなどを子どもたちと振り返り共有し、みんなでもう一度好きだった遊びを楽しめるようにしていきます。



じかんがきたからかたづけよう



今月のねらい：友だちと思いを伝え合い一緒に遊ぶことを楽しむ



うさぎグループ



寒さにも負けず、子どもたちは元気いっぱい過ごしています。先月は、屋上園庭に出てたくさん体を動かして遊びました。ジャングリングの周りをみんなで走ってマラソンをすると、意欲的に走る姿が見られました。「だるまさんがころんだ」や「鬼ごっこ」等の簡単なルールのある遊びをし、友だちと関わって楽しんで遊んでいました。これからも戸外に出る機会を増やし、のびのびと体を動かせる環境を作りたいと思えます。

今月は、1年間を振り返り、子どもたちと様々な思い出を共有する機会をつくります。また、進学・進級に向けての話をし、身の回りの整理整頓をするなど自分のことは自分でできるようにしていきます。

今月のねらい：身の回りの整理整頓を意識して過ごす

いっぱい
はしるよ



よ〜い
どん



ぞうグループ



手洗いの仕方を子どもたちと確認しました。「こうやってゴシゴシする！」と保育士に見せたり、「いち、に一、さん…」と数を数えながら洗ったりする子どもの姿がありました。次のことが早くしたくてつつい急いで手を洗おうとする様子も時折見られますが、傍について手洗いの様子を見守り、丁寧に行えるようにしていきます。

ぞうグループも残り約1か月です。この1年で泣いたり笑ったり、たくさん色々な経験を重ねた子どもたち。思い出を振り返って、絵に描いたり、子どもたちの好きな遊びをしたりして楽しめるようにしたいと思います。また、進級・進学に向けて話をし、期待感をもって新年度を迎えられるようにしていきます。



いち に〜 さん…



今月のねらい：友だちと関わりながら好きな遊びを楽しむ

ひかいくみ



《上手に食べられるようになったよ》



4月当初は、手づかみで食べたり保育士に食べさせてもらったりすることが多かった子どもたちも、スプーンやフォークを少しずつ上手に使えるようになり、自分で食べる姿が増えてきました。

日頃から指先・手首を使うような遊びを楽しめるようにすることで、遊びの中で自然と指先を鍛えていき、食具を持つことに繋げていけるようにしています。



にぎる



すくう



つまむ



つなげる

にぎる・つまむ・つかむ・すくうなどの動作を遊びの中で繰り返し経験することで、5本の指をバラバラに動かす力を培うことに繋がり、これらの動きがお箸を持つ動作にも繋がっていきます。お家でもぜひ、お子さんの好きな遊びの中で、手指をたくさん使って遊んでみてください。

《小西家の台所パート2》

子どもが大学生になって一人暮らしをするようになり、夫婦二人の生活が始まりました。約20年間子育てをしてきて、仕事に育児に忙しかった毎日。いざ夫婦二人となるとどんな生活になるのだろうと思っていましたが、料理が好きな私と食べるのが好きな夫、二人とも呑むことも大好きなので、毎日楽しく二人で食卓を囲んでいます。子どもがいる頃は、唐揚げや豚カツと肉料理に腕を振っていましたが、今では小皿料理や野菜、魚など、美味しいものをちょっとずつ食べて楽しむようになりました。子どもが帰省した時には子どものリクエストに応え、夏は「明太子冷やしうどん」、冬は「ロコモコ」を作りました。

家でゆっくり呑んだり食べたりするのが好きな私ですが、この前行ったイタリアンの店が何を食べても美味しく、そのオイルサーディンの味が忘れられず、家で作ってみました。イワシをさばいて塩水につけ、にんにくとオリーブオイル、ローリエに鷹の爪を入れてことことこと…。スーパーで購入した198円のイワシが美味しいオイルサーディンに早変わり。バケツと白ワインで美味しくいただきました。

毎年色々な料理に挑戦していますが、この1年のBEST3は、1位オイルサーディン、2位舞茸と春菊のサラダ、3位圧力鍋でスペアリブ&柿と生ハムのサラダです。これからも色々な料理に挑戦していきます。料理は作る楽しみだけでなく、それを囲んで家族と一緒に味わい、語り合い喜び合うことができる…それが一番の魅力だと感じています。

小西 桂子

明太子冷やしうどん



小皿料理



ロコモコ



オイルサーディン



舞茸と春菊のサラダ



スペアリブ&柿と生ハムのサラダ

